**Microsoft Community Champion 開発手順書**

|  |  |
| --- | --- |
| チーム No. | JPSC01170 |
| チーム名 | Asteroid |
| 参加エリア  （学生・社会人） | 学生 |
| チーム メンバー名 | 星野雄哉(Kirby)  高橋來知(ArLE)  王一道(Mr.YD) |
| Windows アプリまたは  Microsoft Azure の名称 | TimeTableOne |
| 作品の概要 | 大学生を対象とした時間割アプリ。  OneNoteと連携することにより講義のノーティングをよりスムーズなものにします。 |
| アイデア   1. 開発のポイント 2. 機能 | 1. 開発のポイント   近年、大学生が講義においてノートパソコンでノートをとることも多くなってきました。その方法は多種多様にわたりますが、Microsoft Word、メモ帳、そしてOneNoteが多く使われているように思われます。  　中でもOneNoteはその特性により、大学の講義を記録するのにとても向いています。さらに、Windowsストアアプリ版がリリースされているため、デベロッパー側においてもユーザー側においても、Windowsストアアプリ同士での連携が比較的容易であることから、今開発において連携対象のアプリとして選択しました。   1. 機能   学生において、授業（ノートをとる時間）とそれを管理する時間割は、生活を送るうえで欠かせないものです。このアプリは、ノートやセクションの名前を管理する機能を備えているため、だれでも容易にノートをとることができるようになります。  休講・教室変更管理機能も備えており、フレキシブルな授業日程に対応することが可能になります。  また、課題提出日の管理機能や、ライブタイル・ポップアップなどによる次の時間割通知機能により、リマインダーとしても機能します。 |
| 商業的な価値   1. 特長 2. 使いみち（シナリオ） | 1. 特徴   OneNoteに日付情報と授業名を送ることにより、どのようにOneNoteのノート名やセクション名を決めるか意識せずに使えるので、OneNoteのライトユーザーからこのアプリのユーザーを増やすことができると考えられます。また、Windowsストアにはまだ時間割アプリが多くないことから、純粋に時間割だけを使いたいユーザーにも対応できます。  さらに、時間割は表形式で表示されるので、ユーザーが空きコマにしているセルに広告を表示することも考えられます。   1. 使い道（シナリオ）   ノートパソコンで授業ノートをとっているような大学生が、このアプリからOneNoteを起動し、OneNoteでノートをとることができます。また、少々のメモであればアプリ側で記録することができるので、思いついたことを時間割に直接記録することができます。 |
| 開発手順 | 1. 時間割アプリにはどのような機能が必要か考える。 2. その機能の実装には、どのような知識や技術、設計手法が適しているか考える。 3. 開発に使うツールを考える。今回はVisualStudio2013を用い、Gitによりソースコードを管理した。 4. チーム内での役割分担を考える。 5. 実際に機能を実装していきながら、バグや使いづらい点がないかなどを探す。その際、チーム内での連携を欠かさずとるようにする。 6. アプリを完成させ、ストアに登録する。 |
| 作品の URL |  |

注1：本用紙は Microsoft Community Champion 開発手順書 の見本です。  
5 枚を上限として作成し、ご提出ください。

注2：Microsoft Azure ソリューションを開発する場合は関連する Windows ストア アプリまたは Windows Phone アプリのいずれか、または両方を開発することも可能ですが、いずれも 1 種類につき、 1 つの作品までを審査対象とします。

注 3：開発手順書は次のとおりのファイル名で保存してください：「チーム No\_ category.doc」

（例：JPAC00014\_Azure.DOCX. JPAC00014\_win8.DOCX，JPAC00014\_wp8.DOCX

）